

調査の概要

- 建設工事及び建設業の実態を明らかにすることを目的とした調査
- 建設工事受注動態統計調査及び建設工事施工統計調査で構成

建設工事受注動態統計調査

●調査内容

建設業者の建設工事受注動向及び公共機関・民間等からの受注工事の詳細を把握

●調査時期

毎月

●調査対象

- ・甲調査：建設工事施工統計調査において完工高が1億円以上の業者から抽出した約12,000業者
- ・乙調査：大手49業者
(甲調査の対象にも含まれる)

●調査方法：郵送・オンライン (調査経路)

- ・甲調査：国土交通省－都道府県（－調査員）－報告者
※オンラインの場合は、国土交通省－報告者
- ・乙調査：国土交通省－報告者

建設工事施工統計調査

●調査内容

建設業者が1年間に施工した建設工事の完成工事高等を調査し、建設業の実態・建設活動の内容を把握

●調査時期

毎年

●調査対象

約11万業者
(建設業許可業者約48万業者から抽出
※大臣許可業者等は全数)

●調査方法：郵送・オンライン (調査経路)

国土交通省－都道府県（－調査員）－報告者
※オンラインの場合は、国土交通省－報告者

■令和6年12月25日 建設工事受注動態統計調査の誤報告対策に関する中間整理（抄）

また、施工統計調査、受注統計調査の標本設計や層化区分の在り方については、統計業務の不断の改善を進めて行く中で、今後さらに検討を深めるべく、統計品質改善会議において論点を整理していくこととする。

■令和7年1月17日 総務省統計委員会答申（抄）

施工調査及び動態調査の標本設計について、前回答申への課題対応の検討結果及び統計品質改善会議における論点整理を踏まえ、引き続き、結果精度が確保できるよう標本設計の見直しの必要性を検討すること。